

第2回通常総代会を開催

6月26日(水)、第2回通常総代会が秋田県児童会館で開かれ、総代総数592名のうち580名(本人出席291名、議決権行使書289名)の総代の皆様からご出席いただきました。議長には小野一義総代(男鹿地区)が選任され、適切で円滑な議事進行によって6議案と附帯決議が原案どおり承認されました。

議決された議案

- 議案第1号…平成30年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 議案第2号…定款の一部変更について
- 議案第3号…監事監査規程の全部廃止について
- 議案第4号…会計監査人の選任について
- 議案第5号…令和元年度経費の賦課金額、賦課の方法、徴収時期及び徴収方法の決定について
- 議案第6号…理事及び監事の報酬に關する件について
- 附帯決議…1件



議長を務めた小野総代

平成30年度表彰者 ※敬称略

〈団体の部〉

- ◆ 生産集団
 - 野菜部会枝豆部
 - 株式会社ベジリンクあきた男鹿
- ◆ 不動産経営友の会
 - 飯島支部
 - 外旭川支部
 - 寺内支部

〈個人の部〉

- ① 事業関係
 - 販売事業
 - 有限会社まこと農産
 - 代表取締役 佐藤 樹
- ◆ 購買事業
 - 安田 善八
 - 代表取締役 佐藤 樹
 - 農事組合法人いりあいファーム滝の頭
 - 代表理事 加藤 立夫

② 勤続関係

- ◆ 総代
 - 故 高島 三男
 - 故 佐藤 太郎兵衛
 - 故 田口 長男
- ◆ 支部長
 - 鈴木 尚一
 - 堀野 武美
 - 酒井 慶一
 - 池田 浩富美
 - 堀井 隆博
 - 高橋 正昭
- ◆ 青年部長
 - 加藤 博樹



各協議体で寄せられたご意見・ご要望

※掲載内容については要約の上、重複するものを集約しております。

地区別総代協議会 6月10日(月)～12日(水)

Q 全県1JA構想でJAを大きくした場合、メリットとして農産資材を大量に仕入れ、農家に安く提供できるのか。

A 当JAでは流通経費削減や生産資材、肥料等の値段を下げるため様々な施策を講じており、1JAになれば仕入先に対する交渉力が強まると考えております。

Q 経営を盤石にするために、全県1JA構想のように、合併しなければいけないのは分かるが、合併して大きい農家には恩恵があるとしても小さい農家はどのような保護をしているのか、合併する上で小さい農家にはどのような形を示してくれるのか。

A 農業所得の向上や農業の振興について、いちばん考えないといけないのは農地の流動化対策や、ある程度一定の規模を持った農業経営だと考えております。ミニライスセンター構想や一定の規模を出しながら担い手不足及び農家の高齢化等の課題に対して、いかに労力の省力化で農業振興していくかというところを考えると、一定の面積が必要になります。そういう所をカバーするため、合理化に向けた施策を講じておりますが、決して小さい農家を切り捨てるということでは全くございません。できる範囲となりますが、きめ細やかな指導体制を整えてまいりますのでご理解を願います。

Q 監事監査規程の全部廃止及び会計監査人の監査について、今後監事の業務が減るということか。

A 監事の業務は公認会計士が入れば楽になるということではございません。外部監査の承認を得るため、監事は今以上に会計業務を日常的に監査していかなければならなりません。

令和元年度 第1回座談会 6月13日(木)～24日(月)

営農指導事業

Q 営農指導に力を入れていくとなっているが、実際は以前よりもサービスが低下しているように感じる。稲のハウスは以前よりも少なくなっているはずなのに、巡回が少なくなっていると思う。

A 専門知識を習得し生産者皆様のご要望に対応してまいります。苗代巡回では一般巡回一斉巡回において健苗育成に、連休及び緊急対応では苗の手当等に対応しておりますので、ご理解願います。

Q こだわり米と慣行米の収支状況はどうか。

A こだわり米は、土壌改良材や散布料金等の経費がかかりますが、米概算金の加算があり、生産者の所得向上につながるものと考えております。

